

JARL 和歌山県支部報

第 3 号

昭和52年2月1日発行
発行所 日本アマチュア無線連盟和歌山県支部
和歌山県有田郡広川町広1229 岩崎方
電話 07376 (2) 2206
編集人 JA3CF 岩崎好宏

和歌山県支部大会開催のご案内

日時 昭和52年3月6日(日曜日) 午後1時より4時迄

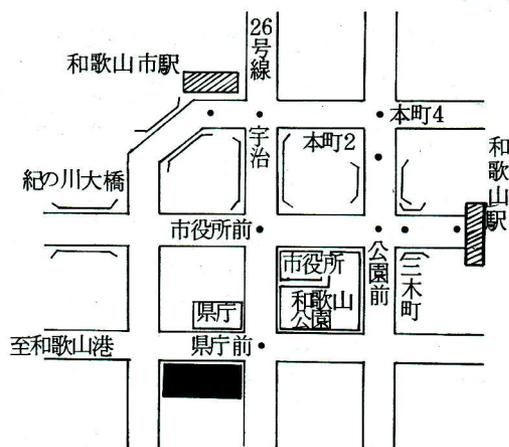
場所 県民文化会館(3階 特設集会室)

和歌山市小松原通り1-1(県庁前) 電話 0734-36-1331

昭和51年度のJARL和歌山県支部大会は、久しぶりに和歌山市内で開催することになりました。当日は本部より原会長が、又関西地方本部より田路本部長他が出席していたべくになっております。特に会長は初めての来和ですので特別講演をさせていただきますようお願いしております。

当日の催物として、カラーTVの公開実験、QSL及自作品コンテスト、メーカー製品の展示などの他、今迄の福引きにかえてオークションを予定しています。ご期待下さい。

会場の案内図



行事予定

- 13:00 開会 支部長挨拶 役員紹介
- 13:20 来賓の挨拶
- 13:50 業務報告及び来年度の計画
- 14:00 特別講演 原 昌三会長
- 14:30 映画上映「7J1RL、沖の鳥島」
(解説 JA3AA 島 伊三治氏)
- 15:20 コンテスト入賞者表彰
- 15:30 オークション
- 16:00 終了

お知らせ

- ☆ そばに駐車場がありますが有料です。
- ☆ 大会終了後、場所を変えて懇親会を開催します。会場の都合で定員がありますのでご希望の方は当日受付にて早い目に申出て下さい。
 - 会費は1人3,000円です。

催物のご案内

カラーTVの公開実験

関西地区でアマチュアTVの草分け的存在のJA3CHT古久保さんが、最近カラーTVのシステムを完成し送信実験中です。

現在、JAではカラーTVを研究している局が各地にあるようですが、大抵はグループやメーカーの協力で、すべて独力でという局はあまり聞かれません。

当日はJA3CHT局に会場へ移動してもらい公開実験を行う予定です。ご期待下さい。

QSLコンテスト (4F 集会室)

会員の皆様のQSLカードを持ち寄ってもらい会場に展示致します。

当日、参加者の方に投票してもらい、もっとも人気のあったカードに賞品を提供します。

参加の規定は別に記載していますので、それを参考にふるって応募して下さい。

自作品コンテスト (4F 集会室)

先のセクションミーティングに参加された各局の自作品を中心に皆様の力作を展示してもらい、参加者に自作のアマチュアスピリットをつぶさに見ていただきます。

応募規定は別項の通りですが、入賞者を表彰します。又参加者全員に記念品を贈ります。あなたの作品を是非ご持参下さい。

映画「7J1RL 沖の鳥島」の上映

JARL50周年記念行事の一環として、DXCCのセバレイトカントリーと認められた南海のリーフ、沖の鳥島にDXペディションしたときの記録映画「7J1RL、沖の鳥島」を上映致します。

この映画は約40分のカラーで、派遣団の出発、台風による難航、沖の鳥島に到着、設営、運用、撤去に至る感動的なDXペディションの進行状況をプロのカメラマンが詳しくかつ印象的にまとめ、ナレーション、音楽も加えての立派な記録映画です。

それと共に、このペディションの実行委員であったJA3AA島さんに解説していただくことになっています。

メーカー製品の展示 (4F 集会室)

メーカー各社の新製品の展示が別室にて行われます。正午より開場します。早い目にお出かけ下さい。

昭和51年度

和歌山県支部業務報告

5月9日 役員会(本年度の方針)

7月4日 才1回セクションミーティング

「DXとビームアンテナ」

7月18日 クラブ代表者会議、役員会

8月8日 才2回セクションミーティング

「6メーカーを楽しもう」

9月12日 才3回セクションミーティング

「CWに強くなろう」

10月1日 支部報才2号発行

11月21日 役員会(支部大会の準備)

12月5日 才4回セクションミーティング

「自作の楽しさ」

12月7日 支部大会準備委員会

1月23日 才5回セクションミーティング

「モービルとそのアンテナ」

2月1日 支部報才3号発行

3月6日 支部大会(予定)

QSLコンテスト応募規定

参加条件 県内在住のアマチュア局の発行のQSLカードであること。

参加申込 応募のQSL1枚を下記に2月28日(必着のこと)までに郵送して下さい。

申込先 ☎ 649-66 那賀郡那賀町名手下217

長谷章方「QSLコンテスト係」

審査 支部大会に参加者の投票によって入賞者を決定します。

賞 審査の結果、1位、2位、3位の局に賞品を贈ります。

その他 ①JARL会員外のカードは参考出品とします。

②応募のカードは原則として返送致しません。

自作品コンテスト応募規定

参加条件 県内在住のSWL・アマチュア局個人の自作品であること。アマチュア無線に関係した機器であること。

参加申込 原則として下記に次の事項を記入の上はがきにて2月28日までに申込むこと。

(記載事項)①自作品の名称、②氏名、コールサイン、③住所、電話番号、

申込先 ☎ 649-66 那賀郡那賀町名手下217

長谷章方「自作コンテスト係」

審査 支部大会当日、会場に展示を行い、支部役員及び当日の入場者のJARL会員の中からランダムに選んだ10名の委員の投票によって入賞者を決定します。

賞 審査の結果、優秀な作品に賞品を贈ります。又参加者全員に参加賞を贈ります。

作品の搬入 作品は支部大会の当日、午後0時30分までに展示会場に各自搬入して下さい。

出来れば参考資料(系統図・データ)を添付して下さい。

その他 JARL会員外の作品は参考出品とし、入賞の対照になりません。

セクションミーティングだより

第4回「自作を楽しもう」

51年もおしつまった12月5日に開催されましたが、丁度この日は総選挙と重なってしまったため、予定の会場が使えず「岡本宅集会場」に急きょ変更し、皆様に大変ご迷惑をおかけしました。

当日は、アンテナ分配器から測定器、クロック、コンバーターや50メガのSSBトランシーバー、約20点の力作が展示され、中でもJA3EMM吉本さんのクランクの柱時計に組込んだデジタルクロックなどの一連の作品や、JA3NGX森川さんのカラーTVの初期の作品である円板廻転型の受像機などのアマチュアらしいアイデアの作品が注目されていました。

JA3LHQ松井さんが総合的に自作のメリットについて話され、日本橋と和歌山市内の部品情報を最後になごやかに散会致しました。

会場その他一切をお世話いただきました「いこらクラブ」のメンバーの皆さんと、分室長のJA3FXB岡本さんに誌上を借りてお礼申し上げます。

なお、これらの作品は別項の通り支部大会の「自作品コンクール」に出品していただきます。ご期待いただきと共に、当日出品出来なかった皆様の力作を是非ご持参下さるようお願いいたします。

(出席者42名)

スクラップ

☆3エレと4エレとはどちらがFBでしょうか?!

アンテナのゲインは如何に開口面積が大きいかによって決まる。それでブームの短かい4エレ八木と充分に長い3エレ八木とでは殆んど差はない。

又、八木ビームは各エレメントを出来るだけ離すと(即ちブームを長くすること)給電点のインピーダンスは50オームに近くなり、直接給電でもあまり影響がない。

(「DXとビームアンテナ」の講演より)

☆カムバックは小野田さんのおかげ

私(JA3CE本田さんのこと)は、和歌山に住んでいた二十年前は、丁度太陽黒点の活動期(サイクル19)で、又50メガの夜明け時代でローパワーでもFBにDXとQSOが出来ることがわかりました。このバンドのDXの特徴は昼間であることで、勤務の関係で昼間の受信時間が充分とれたせいもあって、次々と新しい記録(世界最長交信記録、但しロングパスのため未公認、やファストJA対アジアなど)を作る事が出来ました。

丁度その頃、常連のDU1GFのジョージさんから、ルパン島に日本兵の生き残りがあり、今、軍隊が捜索して自分もそれに協力している

との話を聞かされ、どうやらその生残りの中に小野田さんがいることが間違いないとわかりました。早速私は実家の海南へ連絡したため大さわぎになり、連日連夜ジャーナリストにおっかけ廻されました。

これがきっかけで昭和33年、34年と相次ぐ捜索隊の派遣に発展しました。

ご存知のように小野田さんは、昭和49年3月9日に無事ルパン島から救出された訳ですが、この間私は仕事や転宅などもあり、仕事におわれて永らくQRTしていました。

昭和49年の11月にジョージさんは来日され、このときの思い出が忘れられず、私の消息を色々探してくれたそうですが残念ながら連絡がとれなかった訳です。しかしジョージさんは東京でJA1ANの原さんにお目にかかり、この思い出を語られ、そして原さんはこの事をCQ誌のVHF欄に記載されました。

たまたま、本屋で何げなしにめくっていた雑誌の中にCQ誌があり、その中に自分のことが載っていることを知り、大変驚き、又感激致しました。20年前のことを未だに覚えていてくれた海の向うのハムの深い友情に打たれ、忘れていた昔を思い出し、どうしてもハムにカムバックしなければ申せないと決心致しました。

その後、リグやアンテナをととのえ、神戸市から再開局することが出来ました。又、DU1GFのジョージさんとは28メガで感激の再会が出来ました。これもみな小野田さんのお陰だった訳です。(セクションミーティング「6メーターを楽しく」の本田さんのスピーチより)

「ハムテレホンサービス」

ハムに関係あることなら何でもご相談に応じます。下記に電話して下さい。

「07376-2-2206」(担当) 岩崎

但し、2000~2200JST、時間厳守のこと。

編集後記

セクションミーティングだよりにもふれましたが、吉本さんのデジタルクロックは、古いものと新しいものがうまく調和してそのアイデアに感心させられていました。小生も最近ICやLSIをいじっていますが、ちょっとした注意さえ守れば誰でもうまく働くようです。ハムを永く楽しむには自作はかかせぬようです。あなたも手近かなものから挑戦してみても?。このところQRLでお空ではご無沙汰しています。支部大会でお目にかかりましょう。(CF)

催物のご案内

カラーTVの公開実験

関西地区でアマチュアTVの草分け的存在のJA3CHT古久保さんが、最近カラーTVのシステムを完成し送信実験中です。

現在、JAではカラーTVを研究している局が各地にあるようですが、大抵はグループやメーカーの協力で、すべて独力でという局はあまり聞かれません。

当日はJA3CHT局に会場へ移動してもらい公開実験を行う予定です。ご期待下さい。

QSLコンテスト (4F 集会室)

会員の皆様のQSLカードを持ち寄ってもらい会場に展示致します。

当日、参加者の方に投票してもらい、もっとも人気のあったカードに賞品を提供します。

参加の規定は別に記載していますので、それを参考にふるって応募して下さい。

自作品コンテスト (4F 集会室)

先のセッションミーティングに参加された各局の自作品を中心に皆様の力作を展示してもらい、参加者に自作のアマチュアスピリットをつぶさに見ていただきます。

応募規定は別項の通りですが、入賞者を表彰します。又参加者全員に記念品を贈ります。あなたの作品を是非ご持参下さい。

映画「7J1RL 沖の鳥島」の上映

JARL50周年記念行事の一環として、DXCCのセバレイトカントリーと認められた南海のリーフ、沖の鳥島にDXベディションしたときの記録映画「7J1RL、沖の鳥島」を上映致します。

この映画は約40分のカラーで、派遣団の出発、台風による難航、沖の鳥島に到着、設営、運用、撤去に至る感動的なDXベディションの進行状況をプロのカメラマンが詳しくかつ印象的にまとめ、ナレーション、音楽も加えての立派な記録映画です。

それと共に、このベディションの実行委員であったJA3AA島さんに解説していただくことになっています。

メーカー製品の展示 (4F 集会室)

メーカー各社の新製品の展示が別室にて行われます。正午より開場します。早い目にお出かけ下さい。

昭和51年度

和歌山県支部業務報告

5月9日 役員会(本年度の方針他)

7月4日 ㊦1回セッションミーティング

- 「DXとビームアンテナ」
- 7月18日 クラブ代表者会議、役員会
- 8月8日 ㊦2回セッションミーティング
- 「6メーターを楽しもう」
- 9月12日 ㊦3回セッションミーティング
- 「CWに強くなろう」
- 10月1日 支部報㊦2号発行
- 11月21日 役員会(支部大会の準備)
- 12月5日 ㊦4回セッションミーティング
- 「自作の楽しさ」
- 12月7日 支部大会準備委員会
- 1月23日 ㊦5回セッションミーティング
- 「モバイルとそのアンテナ」
- 2月1日 支部報㊦3号発行
- 3月6日 支部大会(予定)

QSLコンテスト応募規定

参加条件 県内在住のアマチュア局の発行のQSLカードであること。

参加申込 応募のQSL1枚を下記に2月28日(必着のこと)までに郵送して下さい。

申込先 ☎ 649-66 那賀郡那賀町名手下217

長谷章方「QSLコンテスト係」
審査 支部大会に参加者の投票によって入賞者を決定します。

賞 審査の結果、1位、2位、3位の局に賞品を贈ります。

その他 ①JARL会員外のカードは参考出品とします。

②応募のカードは原則として返送致しません。

自作品コンテスト応募規定

参加条件 県内在住のSWL・アマチュア局個人の自作品であること。アマチュア無線に関係した機器であること。

参加申込 原則として下記に次の事項を記入の上はがきにて2月28日までに申込みこと。

(記載事項)①自作品の名称、②氏名、コールサイン、③住所、電話番号、

申込先 ☎ 649-66 那賀郡那賀町名手下217

長谷章方「自作コンテスト係」
審査 支部大会当日、会場に展示を行い、支部役員及び当日の入場者のJARL会員の中からランダムに選んだ10名の委員の投票によって入賞者を決定します。

賞 審査の結果、優秀な作品に賞品を贈ります。又参加者全員に参加賞を贈ります。

作品の搬入 作品は支部大会の当日、午後0時30分までに展示会場に各自搬入して下さい。

出来れば参考資料(系統図・データ)を添付して下さい。

その他 JARL会員外の作品は参考出品とし、入賞の対照になりません。